

一般質問

■少人数学級について  
実現への見解を聞く！

**質** 「新しい時代の学びの環境整備に向けた緊急提言」では、子供たちの学びを保障するため、少人数学級により、十分な距離を保つことができるよう教員の確保が必要と述べられている。この提言に対する見解を伺う。

また、次の場合の学級数および加配教員の必要数を伺う。

- ①小学校を全て20人学級にした場合
- ②中学校を全て20人学級にした場合

**答** 緊急提言に ついては、今回の提言に関わらず、かねてから全国市長会や教育長会を通じ、通常学級の少人数化と教職員の確保に向けた制度改正を継続して国に要望しており、引き続き連携して取り組んでいく。

少人数学級にした場合における学級数と必要な加配教員数

①小学校を20人学級にした場合
【通常学級数】 78 ⇒ 129 (51増)
【教職員数】 135 ⇒ 196 (61増)
②中学校を20人学級にした場合
【通常学級数】 36 ⇒ 67 (31増)
【教職員数】 74 ⇒ 132 (48増)

※法令で40人学級と定められているため、現在の桌の配置基準に当てはめた試算



議員 和典 儀貝 (無会派)



学校の教室

一般質問

■高齢者いきいき入浴補助事業について  
高齢者の声は？

**質** 高齢者いきいき入浴補助事業は、高齢者の生活意欲の向上と健康保持を図ることを目的としているが、「入浴補助券は使い勝手が良くない」「入浴の補助だけでなく、いろいろな活動に対する補助ができるような事業にするべきだ。」などのマイナス評価の声が多い。

**答** 今一度、高齢者のニーズを的確に把握し、本来に必要としている事業内容に変えるべきとの考えから①この事業の今後の発展的方向性②これまでの入浴補助券の利用率について伺う。

利用者からは「これをきっかけに入浴施設に通い健康になった。」「いろいろな施設を利用できた。」との声もあり、閉じこもり防止や介護予防、健康増進を図ることができたと考えている。

今後も、高齢者のニーズを的確に把握しつつ、入浴補助制度を含め、閉じこもり防止や介護予防に適う事業について検討していく。

入浴補助券利用率	
平成 30 年度	20.6%
令和 元 年度	19.9%



議員 和良 山添 (無会派)



高齢者いきいき入浴補助券 (見本)

一般質問

■パトリア再生について  
率直な市長の想いは？

**質** パトリアリニューアルオープンに向け、市長は、9月会議の提案理由説明で、新たにパトリア2階の青写真を提示された。また、キーテナントに関する新聞報道もあった。

駅前再生という大きな方向性は皆一つである。市長自らより具体的に、率直に、「パトリア・駅前再生」について語ることが大事だ。パトリアリニューアルオープンに向けた現状と市長の率直な想いについて伺う。

**答** 現在、キーテナント誘致の実現、着実に改修工事を仕上げることに取り組んでいる。ドン・キホーテからの出店意向表明は、大変うれしく、今まさに第一歩を踏み出したと受け止めている。

新たに2階の一部に(仮称)市民交流・クッキングラボを開設する。この広場は、七尾商工会議所からの提案書に位置付けられたものを形にしたものであり、この広場が館全体の賑わいを創出させ駅前活性化も図れると考えている。

市長が提案したパトリア2階の活用法

- 【昼】 鵬学園の調理実習、高校生レストラン、各種団体の料理教室、食のイベントなど
- 【夜】 居酒屋、レストランなど起業を志す者のチャレンジショップ



議員 智之 山崎 (灘会)



外壁工事が進むパトリア